

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	居住環境が先天異常の発生、児の発育・発達、疾患発症に及ぼす影響（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	学術研究部医学系・公衆衛生学講座 稲寺 秀邦
研究の概要	<p>【研究対象者】 エコチル調査参加に同意された方とお子さま約 10 万組</p> <p>【研究の目的・意義】 居住環境中に存在する化学物質への曝露や、特定の居住環境が、早産、低体重出生、発達障害などの危険性を高めると指摘されています。しかし、近年の日本において、こうしたことが本当に起こっているかどうかは定かではありません。そこで本研究では、この質問に対する回答を得るため、居住環境が、妊娠転帰、先天異常の有無、在胎週数、子どもの発育・発達状況、疾患罹患の有無に及ぼす影響について調査します。</p> <p>【研究の方法】 出産前からお子さんが 6 歳になるまでの間にご提供いただいた情報に基づき解析を行います。本研究のための新たな情報収集は行いません。</p> <p>【研究期間】 実施許可日～2026 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	妊娠転帰（流産・死産・生産）先天異常の有無、在胎週数、子ども（0～6 歳）の発育・発達状況、疾患罹患（アレルギー、川崎病、発達障害）の有無、様々な居住環境（自宅の形状や築年数、何階建ての何階に居住か、床の材質、暖房器具、クーラー、加湿・除湿器、空気清浄機の使用状況、部屋や寝具の清掃頻度、防ダニ寝具の使用状況、室内外粒状物質（PM）の濃度、尿中フェノール類濃度など）母体併存疾患（妊娠前からの高血圧、糖尿病）、母親の抑うつ状態、子の性別、流死産既往歴、家族状況（婚姻状況、家族人数、子どもの数）、喫煙、飲酒、妊娠中の体重増加、経妊経産回数、社会経済要因（世帯収入、最終学歴、職種）など（他機関への提供：無）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学 学長 齋藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>TEL:076-434-7275      FAX:076-434-5023 E-MAIL inadera@med.u-toyama.ac.jp 富山大学 学術研究部医学系 公衆衛生学講座 稲寺 秀邦・教授</p>